

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	上尾市立しらこぼと保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	金子 満子	定員(利用人数)：	80 (63) 名
所在地：	〒 362-0001 埼玉県上尾市上374-1	TEL	048-774-6310

③評価実施期間

平成28年6月1日(契約日)～平成29年2月28日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○小規模園ならではの家庭的で温かい雰囲気の中で園運営がなされ、保護者からの満足度も高い
80人定員のところ今年度は63人の在籍人数となっている。職員が市の基本方針でもある「一人ひとりを大切にする保育」の実践を心がけ、入園から卒園まで全園児について毎月の個別指導計画を作っており、日々の保育活動につなげている。園の周辺は自然に恵まれており、小規模園の利点を生かし、異年齢で散歩に行く機会や、合同でリズムや歌集会などを実施している。交流を通して年長児はいたわりの気持ちやプライドを育み、年少児はあこがれをもって関わったり、家庭的な雰囲気の中で保育が行われている。また、近隣の高齢者との交流を通して、コマ回しやカルタなどの伝承遊びを教えてもらったり、日々のあいさつや声かけを通して、園運営への理解を深めている。アットホームな雰囲気での保育の展開は利用者調査の意見においても保護者の評価が多いところである。

○清掃が行き届き維持管理がなされ、所内を有効に活用し保育が進められている
築年数が古い保育所であるが、清掃が行き届いており古さを感じさせない等維持管理がなされている。乳児は各クラスで、3歳から5歳児はホールで午睡ができるので、クラスを有効に使うことができる。定員も少なく園舎も狭いが廊下の壁面などを利用し感染症情報やお知らせ等の保護者向けに情報発信をしている。所内には貸し出し図書のコナーも設置され、子どもたちが気軽に借りられるように配慮されている。

○地域資源や人材などを保育につなげ、子どもたちの遊びや交流に活かした取り組みが進められている

保育所に隣接する地域の広場を活かして、子どもたちが近隣高齢者との交流などを楽しんでおり、高齢者にとっても子どもたちとのコミュニケーションは活力の場ともなっている。また、保育所では年1回高齢者交流の機会を設け、年長児がむかし遊びを教えてもらい一緒に楽しんだり、給食の献立を和食にして提供するなどの取り組みを行っている。夏祭りや運動会、保育所であそぼう、公開保育などではポスターを掲示し、お知らせで地域に向けて参加を呼びかけ、地域の高齢者や居住者、保護者などが来所しており、在所の子どもたちとの遊びや交流を楽しんでいる。公開保育の際には近隣小学校の先生や民生委員などの参加があり、地域の子育て情報や福祉活動へのニーズなどを把握する機会ともなっている。近隣小学校の学校公開などでの訪問交流を行い、子どもたちが小学生とのふれあいを楽しみ、年長児の就学に向けた意識付けなどの取り組みとしても活かしており、地域に根ざした子育て施設としてしっかりと機能している。

◇特にコメントを要する点

○子どもたちが遊びたくなるおもちゃやコーナーなどの設定、絵本の見せ方などの工夫を期待したい

保育室にあるおもちゃは、カゴや段ボール箱等に整理整頓されて棚に収納されており、ままごとコーナーも設置されている。子どもが好きなおもちゃを自由に出して遊ぶことができるような収納の工夫やおもちゃの見せ方、ままごとコーナーの道具の位置の配置などを検討することによって、遊びがもっと広く展開し充実していくことを期待する。子どもが見たい絵本を選ぶ際、背表紙だけからはなかなか選びにくく、表紙が見え手に取って読みたくなるような絵本の並べ方や見せ方の工夫も期待したい。

○食育実践活動の展開について、子どもたちの五感を活かし、保護者を巻き込んだ展開も望まれる。園庭や近隣の畑を借りて栽培活動を実践し、夏野菜はジャガイモ、キュウリ、ナス、スイカなどを栽培している。冬野菜はブロッコリーを栽培して、栽培物を調理してもらい食べる機会を持っている。インゲンのすじ取りやトウモロコシの皮むきなど、給食の食材にふれたり手伝いをする機会もある。また、芋汁作りやおにぎり、すいとんづくりなどのクッキング保育を実施している。後期より、年長組で3色基礎食品群のボードを作り、給食材料を絵カードにして貼っている。給食の展示は夏場を除いて給食室の配膳棚内に設置しているが、展示食を見たい時はわざわざ見に来ることとなり、展示場所の検討も含め、子どもたちの五感を使って食育活動が展開されることや保護者を巻き込んだ取り組みが進められるよう、更なる情報の提供や活動の工夫なども望まれる。

○様々な配慮や工夫などを考え方とともに伝え、更なる保護者の理解と協力を活かされたい

朝礼を通して職員間で子どもや保護者に関する情報を共有し、職員間での連携を活かして保護者とのコミュニケーションを丁寧に行っている。また、給食の展示への配慮や保育活動の様子を保護者に伝える工夫など、取り組みを伝える様々な配慮がなされている。保育所室内の環境整備や子どもたちの安全や安心につながる取り組みなどへの考え方や職員一人ひとりの保育への思いも合わせて伝えていくことも期待したい。また、保育士・調理師などの保育に関わる工夫や配慮などを更に保護者に向けて知らせ、子どもたちの様子を直に見て感じてもらう保育参加などの取り組みを更に推進して保護者の更なる保育所への理解と協力、支援などに活かされたい。

○職員全員から意見を出し合い、将来像や目指す保育を共有して中期計画として取りまとめ、更なる連携・保育活動の向上に活かされたい

主要な会議体系が確立され、意思決定プロセスが整っており、職員会議などの場では全員が出席できるように工夫し、意見を出し合って皆で決めていくことができるよう取り組んでいる。職員一人ひとりの保育力の向上、人材の育成に関する所長の思いもある。職員の資質を活かしてよりよい保育活動につなげ、保育所の将来像やどのような保育を目指していくかなどを共有し、保育所独自の中期計画、園の目指す保育などの検討を進め、具体的な目標・達成指標などを明確にして、職員間での連携向上、更なる保育活動の向上に活かされたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けて、小規模園ならではの園運営の良さや、地域との交流を通し根ざした保育所の継続を再認識し、より一層活かしていきたいと思えます。今後の課題や改善すべきところは園全体で共有し、質の向上につなげたいと思えます。また、保護者とのさらなる保育所への理解と協力に向けて、コミュニケーションを図り、安心・安全な保育所をめざし取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆さまには、お忙しい中アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり